

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.409
令和7(2025)年7月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内27番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第65回

川上 徹也 (かわかみ・てつや)

コピーライター・湘南ストーリーブランディング研究所代表

大阪市阿倍野出身。大阪大学人間科学部卒業後、広告代理店勤務を経て独立。2008(平成20)年からはビジネス書を中心に作家活動を開始。『1行バカ売れ』『川上から始めよ』など著書多数。その多くが海外にも翻訳されている。書店好きとしても知られ、JR立花駅北側、商店街にあった小林書店(2024年5月31日に閉店)の店主・小林由美子さんをモデルにした小説『仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ』を執筆。広告電通賞、ACC賞など受賞多数。



作品紹介

「仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ」

川上 徹也/著 ポプラ社 2020年発刊

目標もなく、なんとなく社会人になった出版取次会社の新入社員が「尼崎の小さな本屋さん」の店主と出会い、仕事で大切な姿勢や考え方を学んでゆくストーリー。文庫版として改題・加筆修正された『あの日、小林書店で。』(PHP研究所 2024年発刊)は、「ひょうご本大賞2024」を受賞している。

常設三二展示

戦争と子どもたちの暮らし ～ 戦後80年、平和を考える ～



1945（昭和20）年8月15日、日本は終戦を迎えました。今年はそれから80年という節目の年にあたります。今回の展示では第二次世界大戦の開戦から終戦までの主な出来事をたどるとともに、尼崎市立歴史博物館の所蔵資料を中心に、戦時下の子どもたちがどのような生活を送っていたのかをふり返ります。世界の各地で絶えず争いが起こり、多くの人々がその被害を受け続けている今、改めて平和について考えてみませんか。

～貸出できる関連本のコーナーもありますので、どうぞご覧ください～

期間：6月27日(金)～9月24日(水) 場所：2階 エントランス

絵本・手あそび DE コミュニケーション！

絵本の選び方や楽しみ方、絵本を通したコミュニケーションについて手遊びをまじえながら、楽しくお伝えする講座です。どうぞお気軽にご参加ください♪



【日 時】7月29日(火) 11:00～11:45

【場 所】園田西生涯学習プラザ 2階和室

【対 象】2歳までのお子さんとその保護者、妊婦(パートナーの参加も可)(先着10組)

【講 師】おはなしグループ「ハートフリー」の皆さん

【申 込】専用の申し込みフォーム または

中央図書館カウンターへ直接お申し込みください。

受付：7月5日(土)午前9時～7月27日(日)

(定員に達した場合は受付を終了します。)

お申込みは
こちらから！



中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本
教 珠 つ な ぎ

第57回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。多田 銀次郎さん(パイナード店主 株式会社タダカラボタモチ代表取締役)から推薦された次の方は…

たかてら よしかず
高寺 芳和 さん

(ネットラジオ「尼ライフは上々だ」MC、アマチュア小説家の会社員)

『スタンド・バイ・ミー』

スティーヴン・キング／著 山田 順子／訳 (新潮社 1987年刊)



スティーヴン・キングの文章には魔法が宿っている。本を開けば1950年代アメリカの1セント銅貨の手触りや芝生の香りが漂ってくる。太陽の熱で汗ばむ体、車の排気ガスが煙たい。それは読者の心にある現実の重荷を忘れさせ、今まで行ったことのない場所へ連れていってくれる。青春への憧憬を胸に、豊かさに支配される前の時代へタイムスリップ。世代を問わず、皆様におすすめしたい一冊です。

次回は、株式会社シラタキカク代表、ミュージシャンの白田 和茂さんです。お楽しみに！

レファレンス室から

～新刊紹介～

『世界のスパイス百科』

(原書房)2025年3月発刊

スパイスは葉、花、種子、茎、根など食用植物を原材料としますが、その歴史は侵略・征服・協力・文化的影響・移民などの世界史と深くリンクしています。世界各国で愛され、文化に根をおろすスパイスの数々を、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、アメリカと大陸別に紹介。伝播地図、国別特産地図やレシピも豊富な、スパイスの知識と実用が詰まった百科です。



この資料は、3階レファレンス室でご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました!

世界の貧困や教育の格差についての、子ども向けの本を探している。



キーワード「世界」「国際」「教育」「格差」「学校」「子ども」などを様々な組み合わせ、所蔵検索してみると、『SDGs時代の国際協力 アジアで共に学校をつくる』(岩波書店)、『トットちゃんとトットちゃんたち(講談社)』、『マララが見た世界』(潮出版社)などの図書がヒットしました。またレファレンス室の参考図書『ヤングアダルトの本 SDGsを理解するための3000冊』(日外アソシエーツ)にも、『ぼくの夢は学校へ行くこと』(佼成出版社)などの所蔵資料が掲載されています。

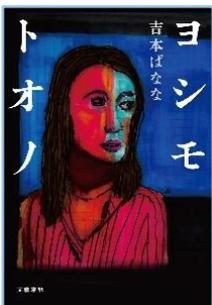
こんな本 入りました

～一般室の本棚から～



『ヨシモトオノ』

吉本 ばなな/著 (文藝春秋)



日常の中でふと見える世界の裂け目、生と死の境界が揺らぐ瞬間を描いた少し不思議な短編集。民俗学者・柳田國男にインスパイアされた「吉本ばなな版遠野物語」!

『おこさま人生相談室 おとなのお悩み、おこさまたちに聞いてみました』

小林 エリカ/著 (柏書房)



「お菓子を食べて罪悪感にかられる」「部屋の片づけが苦手」そんな大人たちの本気の悩みに、102人のおこさまたちが本気で向き合い、時に鋭く、時にユーモラスに回答してくれる。いつもと逆の人生相談書。

『天文学者が1を知ると、宇宙は10の謎を投げかけてくる』

田中 雅臣・津村 耕司/編著 (河出書房新社)



宇宙の謎は、解明されるたびにさらに深い問いが生まれる。最新の天文学のホットな話題を、日本の新進気鋭の天文学者9名が、一般読者向けに分かりやすく解説している。

『なぞとき赤毛のアン』

松本 侑子/著 (文藝春秋)



日本初の全文訳『赤毛のアン』シリーズ全8巻を手掛けた著者による物語に隠された「なぞ」を解き明かすエッセイ。プリンス・エドワード島の写真など、視覚的にも楽しめる一冊。

7月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ◆
6 ○	7	8	9 ●	10	11	12 ◆
13 ○	14	15	16	17	18	19 ◆
20 ○	21 ○	22	23 ●	24	25	26 ◆
27 ○	28	29	30	31		

開館時間 **9:00～20:00**

※  印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は **17:15** まで。

朗読の会 おはなし玉手箱

日時 7月8日(火) 14:00～15:00
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「ないたあかおに」 はまだ ひろすけ/作
「バーバのかき氷」 小川 糸/作
(『あつあつを召し上がれ』より) ほか
※8月の朗読会はお休みです。
次回は9月9日(火)です。



◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

14:55～15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00～11:30 0～3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください



ビブリオバトル尾崎 夏の陣

【日時】 7月5日(土) 11:00～12:00

【場所】 中央図書館

2階雑誌閲覧スペース

【テーマ】 ねがう

発表希望者は電話または直接、中央図書館まで。

(TEL: 06-6481-5244)

観覧は申し込み不要です。お気軽にどうぞ!



ビブリオバトルとは「知的書評合戦」のこと。5分間で本の紹介をしあう、コミュニケーションゲームです。ビブリオバトルを開催し、尾崎城「城主」の座を競います!

担当者のつづやき

7月と言えば七夕や海開きや祇園祭など、行事やイベントが盛り沢山ですね。個人的には7月は誕生日月なので、毎年誕生日当日には母に「生んでくれてありがとう」と感謝を伝えるようにしています。毎年、母の少し照れたような嬉しそうな笑顔が最大のプレゼントです。(T.N)



8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 ○	4	5	6	7	8	9
10 ○	11 ○	12	13	14	15	16
17 ○	18	19	20	21	22	23
24 ○	25	26	27	28	29	30
31 ○						